



# 青南だより

令和2年11月号

港区立青南幼稚園  
園長 新山 裕之

## ＜日々の活動を織り上げる営み＞

先日の作品展は、各学年の育ちにに応じた活動を丁寧に織り上げた織物のようなものでした。年少組は、遊びの一つとして描いたり作ったりしたものが楽しい作品になりました。年中組は、おばけのイメージが膨らんで作品作りにつながるような工夫が子どもたちのやる気をかきたてました。年長組は、絵本や歌などを共通体験として、イメージを擦り合わせ、5～6人のグループに分かれて、3週間掛けて一つの物を作り上げていきました。ミニチュアランドは、大人も楽しめる夢の国になりました。



遊んで作ったものが作品になった感じの年少児

## ＜苦楽を共に乗り越えたからこそ＞

特に年長のグループ製作は、多くの感想文にもあったように、楽しいだけではなく、苦労や大変さを乗り越えながらの長期間にわたる共同作業でした。だからこそ、自分の思いや考えを伝える力、相手の意見を聴く力、相手の気持ちを察する力など、社会で生きるために大切な根っこの部分を学ぶことができたのだと思います。自分たちのやりたいことを自分たちの意志で、仲間と協力して進めるという体験を通して大きく育った年長児への、小さい子たちの憧れは最高潮に達しています。



おばけのイメージのお陰で  
伸びやかな表現を楽しんだ年中児

## ＜自然との関わりは大事な共通体験＞

一般的な表参道のイメージからは想像がつかないほど、青南幼稚園の自然環境は豊かです。幼稚園説明会の際に園庭をご案内すると、皆さんが園庭の樹木や草花、畑の様子などを「手入れが行き届いていますね」「いろいろな生き物がいるのですね」「砂場で泥んこ遊びができるなんて！」と感心してくださいました。先日、ブドウも収穫して、おいしくいただきました。自然との関わりを通して様々な感動を味わい、それを共有する友達との関わりも豊かになっていくのです。



共同制作の難しさも楽しさも味わった年長児



園庭のブドウは甘くておいしかった！

・・・霜月（しもつき）・・・

青南の  
二十四節気

立冬（7日）… 裏庭の柿がおいしそうです …

小雪（22日）… 紅葉も朱色に変わり始めるでしょうか …

園庭のかえでは今年はいつ頃から色付き始めるでしょうか？裏庭の柿の木は、今年もしっかりと実を付けてくれており、子どもたちと一緒に収穫できそうです。感染予防の対策をして味わいたいと思います。そろそろ園児募集の時期です。素晴らしい環境に恵まれた青南幼稚園の魅力をぜひ皆さんからも発信していただければ幸いです。幼稚園の様子は随時、ホームページのブログや小さなコラム「みちくさいたずらこどものじかん」でお知らせしています。ぜひご覧いただければ幸いです。



第二校庭で体を動かす遊びも楽しんでいます